

最速伝説



操作説明書

ASCII

伝説

疾走するレーシングカー。

その代表格を捜せば、速さと美しさ、そして何より歴史と規模、格式に於てF1に勝るものはない。

しかし、人間の限界へ挑戦する魂は、やがてF1以上の真に速さだけを競うカテゴリーを作ろうと云う巨大なうねりを生んだ。

この機運は、政治ショウと化したF1シーンに疑問を抱く多くの人々の心を激しくゆさぶった。すぐに国際規約が作られ、レースの細目が決定されると同時に、専用のサーキットも世界各地に建設された。

こうして産まれたのが、F1を越える性能を有す、モノポスト型フォーミュラカー「カテゴリーX」であった。

退屈なレースに飽き飽きしていた観客は、ワールドシリーズと名付けられたこの選手権を諸手を上げて受け入れた。

ワールドシリーズこそが、地上最速の男を決定する筈であり、その前途は洋洋かと思えた。

ワールドシリーズは、世界を転戦して行われ、総合チャンピオンを決定するシステムであった。そして、シリーズが開幕すると、想像以上の激しい戦いが繰り広げられることになった。

ワールドシリーズのレベルの高さを表すものとはいえ、カテゴリーXのマシンは、常識を逸脱した性能を誇り、もはや常人の操れる代物ではなかった。

レースに情熱を傾けた多くの若者達がサーキットの露と消えて行った。

ワールドシリーズは危険すぎる。カテゴリーXは、邪道だ。世論の批判が高まる中、只一人圧倒的力量を発揮して勝利の美酒に酔う男がいた。

天使のように優雅に、又あるときは悪魔のように豪快に走る彼の姿に観客は熱狂した。しかし、彼の勝利は、レースに対する深い愛情と極めて高い戦略性によるものであり、決して無謀なものではなかった。

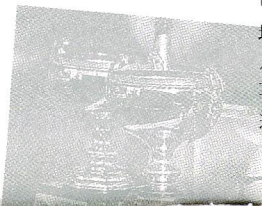
人は、彼のことをこう呼んだ。「レーサーX」と。

「レーサーX」は、レーシングドライバーを目指す全ての若者達の憧れであり、目標であった。が、ある日之境に「レーサーX」は、その姿を忽然と消してしまった。そう、時代に対してあまりに進みすぎていたワールドシリーズが、結局中断となった、あの最後のレース以来。

専用のサーキットも封印され、カテゴリーXのレーシングカーも全て解体されてしまった。

遙かーいや、僅か20年前のことではある――。

伝説の男



伝説は死なず

もはや伝説と化し、その名だけが一部ファンの中で語り継がれてきたワールドシリーズ。実際、何度となく復活の機運が高まったものの、結局は夢物語の蒸し返しに終始していた。

それでもレースを愛する者達の復活への熱き思いは、決して冷めることがなかった。

20年の歳月は、レース界にも格段の進歩をもたらした。

素材の進歩が、車体の安全性に飛躍的な向上をもたらしたのだ。

今なら、カテゴリーXのレースが再開できるのではないか。

カテゴリーX。20年の長きに渡り、レース界の禁句ですらあった言葉を今こそ高らかにうたい上げて良いのではないだろうか。

機運は一気に高まり、ついにカテゴリーXによるワールドシリーズが再び開催されることになった。

専用のサーキットもその封印を解かれ、今新たなるチャレンジャー達を迎え入れた。

I
II
III
IV
V

20年目の衝撃

が、ここに驚くべき事実があった。

20年も前に樹立されたコースレコードを誰も破ることが出来ないのだ。

コースレコードは、すべて伝説の男「レーサーX」が打ち建てたものであった。

人々は、今改めて驚嘆と尊敬の念を込め、「レーサーX」の名を思い起こすのであった。

このレコードを破る者は、「レーサーX」自身以外にあり得ないのではないか。

あまりに重い厳粛な事実であった。

やはり、本物の「レーサーX」を見たい。あの見る者を震撼させ、感動までも与える走りを見たい。世界は今、真の英雄「レーサーX」の復活を待ち望んでいた。しかし、それはいくら願ったところで、所詮かなわぬ夢でしかない。

誰も忘れてはいなかった。そして、誰もが夢に見たカテゴリーXによるワールドシリーズ。

その頂点に燦然と輝く伝説の男「レーサーX」。

この称号を目指し今日も、若者達がサーキットに集う。偉大な記録に一步でも近付き、並び、追い抜き、現代の「レーサーX」と呼ばれるその日まで、彼らの情熱は、炎のように燃え上がる。

伝説の男が演じた壮絶なレースにエントリーし、君自身が「レーサーX」を目指す日がついに訪れた。

世界中のサーキットで完全なる勝利を収めるのだ。

復活の予感

伝説の真の継承者は、君なのかも知れない。



さあ！伝説に
挑戦だ！

REGULATIONS

レギュレーション

公示

世界カテゴリーX選手権シリーズ全10戦は、国際自動車連合(WAU)公認のもと、WAU国際スポーツ法典及びその付則、並びにそれに準拠した各国内競技規則に従い国際競技として開催される。

特別規則抜粋

第4条 参加車両

国際自動車連合(WAU)の定めるカテゴリーXに属す車両とする。

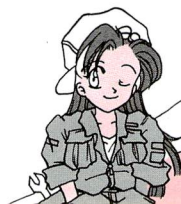
- 第30条 ピットイン及びピットアウト
ピットインする場合、安全を確認し、ピットイン専用路に入り、徐行しなければならない。
ピットアウトする場合は、本コース上の競技車両の妨げにならないように注意を払うこと。
- 第35条 中断及び短縮
競技中において発生する事故、天候の悪化等による中断、短縮はあり得ないものとする。
- 第36条 レース終了
スタート後、規定周回数を終えた時点でチェッカーフラッグが振られ、レースは終了する。

その他

なお、予選、決勝レース進出、スタート等は、本書別項にて説明するので参照されたい。

ドライバースミーティング

今すぐにでも走りただろうが、焦りは禁物。まずは、ドライバーの君に知っていて欲しいことがある。そのために、この「操作説明書」と「スターティングガイド」を良く読んでもらいたい。そう、これは、ドライバースミーティングなのだ。
すでにレースは始まっている！



君もエント
リーしよう！

—CONTENTS—

伝説	2
レギュレーション	4
さあ！ エントリーしよう	
メニュー画面ガイダンス	7
1 まず、サーキットを熟知せよ！	
レースコースガイダンス	8
2 ドライバーズシートに滑り込め！	
コックピットガイダンス	10
3 走りをサポートする武器を獲得せよ！	
オプションパーツガイダンス	12
4 始動！ 究極オペレーションを目指せ！	
キーボード&マウスガイダンス	14
5 君だけのスペシャルマシンを作り上げろ！	
セットアップガイダンス	16
6 戦いに向けて、徹底的に走り込め！	
テストランガイダンス	18
7 優勝の栄冠をつかみ取れ！	
予選&決勝ガイダンス	20
8 飽くなきチャレンジャーたれ！	
ビデオ、対戦ガイダンス	22
9 次代を担う者へ～レーサーXへの道	
レコードガイダンス&テクニックポイント	24

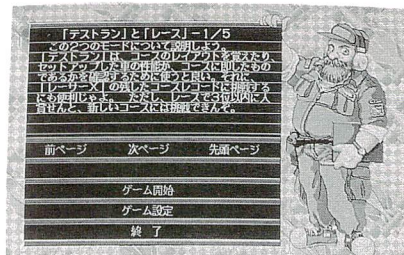
*起動方法は、別冊の「スターティングガイド」をお読みください。

終了は戻りの画面で、スタート位置にリターンキーを押すと終了画面です

メニュー画面ガイドンス

さあ! エントリーしよう

熱いバトルが今、幕を開ける。君のチャレンジ精神が試されるだろう。サーキットのゲートの前に君はもう立っているのだ。



オープニングのデモの途中で、何かキーを押と、この画面になる。最初に、君が乗る車の操作をするのは、キーボードかマウスか決めておこう。

レース画面では、ここで決めた方しか使えなくなる。

メニュー画面での選択は、どちらも使えるが、ディスク入れ換え時の確認は、キーボードからだけになるので要注意。

「ゲーム設定」から「環境」を選択することで、この決定ができる。とにかくゲームのスピードを上げたい君には、「描画モード」で背景を消し、建物等すべてをワイヤーフレームにしてしまうことを勧める。これらの設定は、ゲームを起動するごとに変更できる。

メニュー画面等の文字による選択項目は、赤文字がオンカーソル状態を示し白文字が決定事項であることを示す。

「実行」、「取消」の表示も同様の扱い。



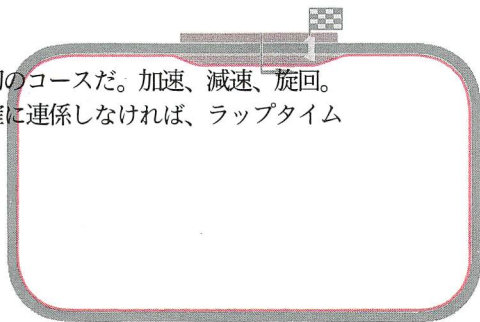
サーキットが
君を待つノ

レースコースガイドンス

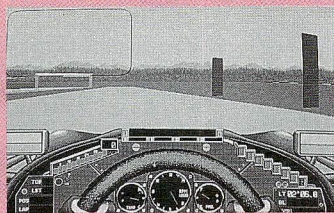
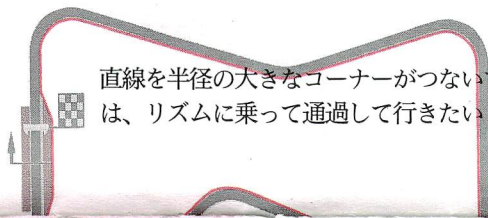
まず、サーキットを熟知せよ!

戦いの舞台となるレースコースは全10コース。ここでは、4コースを例に取り、攻略ポイントを考えたい。

ここは、君が走る最初のコースだ。加速、減速、旋回。
この3つの動作が正確に連係しなければ、ラップタイム
短縮は不可能だ。

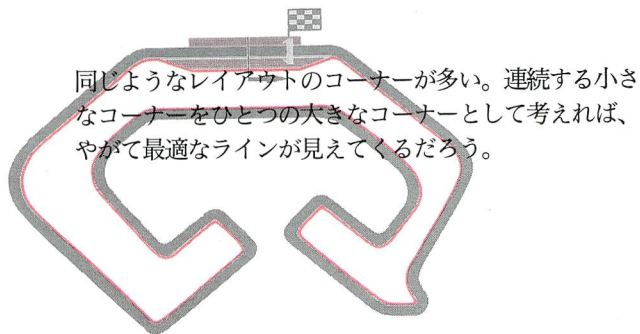


直線を半径の大きなコーナーがつないでいる。コーナー
は、リズムに乗って通過して行きたいものだ。



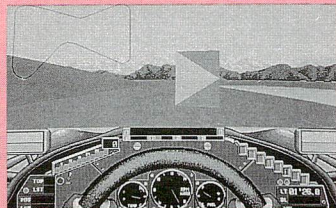
ここが君のピットだ。予選～決勝のとき、タイヤ交換などの作業ができる。
ピットロードに入り、ピット側に寄って進めば、ピットイン状態になる。
コース側を走ると、ピットを素通りできる。

インフィールドのきついコーナーは、徹底的に減速し、クリアすること。全開が全てではない。繊細なスロットルワークこそが大切なのだ。



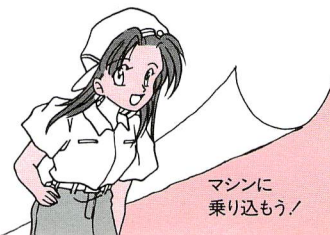
同じようなレイアウトのコーナーが多い。連続する小さなコーナーをひとつの大きなコーナーとして考えれば、やがて最適なラインが見えてくるだろう。

この後に君を待っている難コースも、何かを学び取ろうとする姿勢がある限り、攻略のポイントはおのずと開けて来ることだろう。



これは、チェックポイント。正しくコースを走れば、画面左上のコース図が赤く変わる。コース全体が赤くなると、その周回は完走したと見なされる。

(自分の位置は、赤い点で表示)もし、このポイントから大きく外れたラインを通ると、ショートカットと見なし、完走扱いしない。ここを経過することで順位の確認を行う。



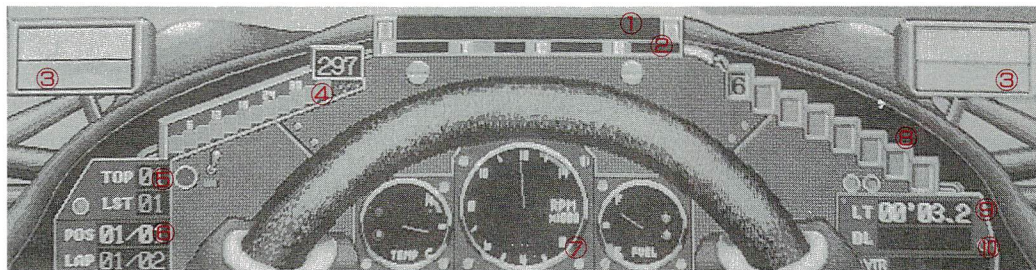
マシンに
乗り込もう!

2

コックピットガイダンス

ドライバーズシートに滑り込め!

マシンの頭脳部、コックピット。君がマシンのパワーをフルに発揮させたいなら、コックピットの十分な理解は不可欠だ。



①インフォメーションディスプレイ

レース中の車の状態を知らせるディスプレイだ。
以下のことが表示される。

RIVAL is approaching

後方からライバル車が接近していることを示す。

SLIDE!

グリップを失い、滑っている状態。

⑤トップ/ラストメーター

上段にレース中の先頭の周回数、下段に最下位の周回数が表示される。

「GL」と表示されたときは、誰かがゴールしたことを示す。

SPIN!

急激に滑っている状態。祈るのみ。

COURSE OUT!

コースからの逸脱状態を示す。

CRASH!

何かに衝突したことを示す。

REVERSE!

逆走状態の警告。すみやかにターンすべし。

OUT OF MAP!

サーキットを取り囲む外壁に行き当たった状態。これ以上は進めない。

②ダメージゲージ

走行中、車に受けるダメージの度合を赤いバーで表示する。赤が一杯になると走行不能になる。内容は、以下の通り。

E: エンジン

T: タイヤ

C: シャシー (ボディカウル、サスペンションを含む)

B: ブレーキ

③リアビューミラー

ライバル達の接近を自分の目で確認すること。

④スピードメーター

デジタルとシーケンシャル式のものがあるが、装備されている。

*シーケンシャルのものは、速度が安定しないと表示しきれない場合があります。

⑥ポジション/ラップメーター

上段にレース中の自分の順位、下段に周回数が表示される。

⑦回転計

エンジンの回転数を表示する。

⑧ギアポジションインジケーター

現在のギアの位置を表示する。Nは、ニュートラル。Rは、リバースの意。

⑨ラップタイムカウンター

上段には、一周ごとのラップタイムを表示する。下段には、設定された周回数の中でのベストラップが表示される。

*現実の時間とは関連しません。

⑩VTRメーター

走行シーンが録画できる総量を示す。緑のバーが右端に延び、バー全体が赤く変わるまで録画が可能。



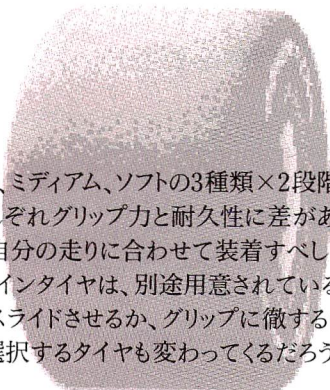
パワーを発揮
させるには...

オプションパーツガイド

走りをサポートする武器を獲得せよ!

決勝レースで3位以内に入賞すると、パワーアップを計るパーツを手にすることができる。3位-1個、2位-2個、優勝は、3個までのパーツが自由な組み合わせで選ぶことができる。

タイヤ



ハード、ミディアム、ソフトの3種類×2段階あり、それぞれグリップ力と耐久性に差がある。
自分の走りに合わせて装着すべし。
レインタイヤは、別途用意されている。
車をスライドさせるか、グリップに徹するかで、
選択するタイヤも変わってくるだろう。

エンジン



出力重視の超高速型、扱いやすさが売り物の
中低速型などが用意されている。
コースに合わせて使い分けたい。

シャシー



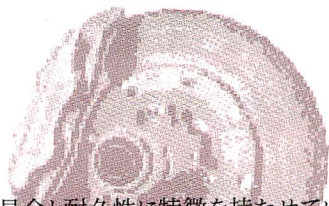
*ひとつのコースで獲得できるパーツは3個までです。同じコースで入賞をくり返しても3個以上は取れません。



ここで言うシャシーとは、
車体のフレームとカウルを合わせた物である。
重量と剛性が反比例するので、
予選と決勝の使い分けも考えたい。

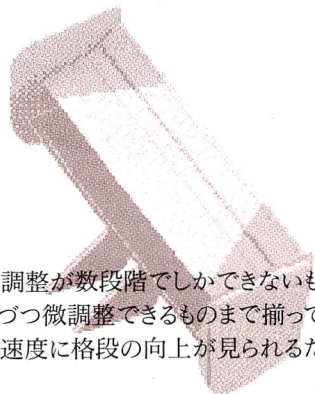


ブレーキ



効き具合と耐久性に特徴を持たせている。
制動力が高くなるほど、耐久性は落ちる。
いずれにせよハードブレーキングの連続は、
避けた方が良い。

ウイング



角度の調整が数段階でしかできないものから、
一度つつ微調整できるものまで揃っている。
旋回速度に格段の向上が見られるだろう。

選択方法は、決勝レースのページで説明しよう。



乗りこなせ/
君のマシン!

4

キーボード & マウスガイドンス

始動! 究極オペレーションを目指せ!

君が走り心を行くまで堪能するには、キーボードかマウスの操作をマスターする必要がある。これなくして、レーザーXへの道はない!

キーボード編



① **SHIFT**

押せばスロットルがONになり、エンジンの回転が上昇する。

② **スペースキー**
ブレーキ。

③ X

(SHIFT)と同じスロットル。

④ Z

スペースキーと同じブレーキ。

⑤ ESC

メニュー画面では、取消。内容がキャンセルされ、それ以前の状態に戻る。走行中は、一度押すとPAUSE機能。続けてもう一度押すと、走行終了。

⑥ リターンキー

メニュー内容の決定、実行等を使用。

⑦ カーソルキー

メニュー画面では、↑↓←→を項目、設定変更に使用。

走行中は、←→がハンドル操作に、↑↓をマニュアルミッションのシフトアップ、ダウンに使用。

⑧ テンキー

①③が←→に、⑤⑦が↑↓に対応している。

この他に、名前入力できる画面では、アルファベットと数字、②④及びスペースキー、⑨(BS)が使える。

マウス編



走行中は、右クリックがスロットル。左クリックがブレーキ。本体の左右移動でハンドル操作。

メニュー、ウインドウ等、画面内の「実行」「取消」の項目は、どちらかの文字にオンカーソルし、左クリックで決定する。

その他の設定項目も左クリックで内容を変更できる。

*マウスでは、走行中の「PAUSE」機能、文字入力ではできません。

また、マニュアルミッションの車のギアシフトはキーボードからになります。



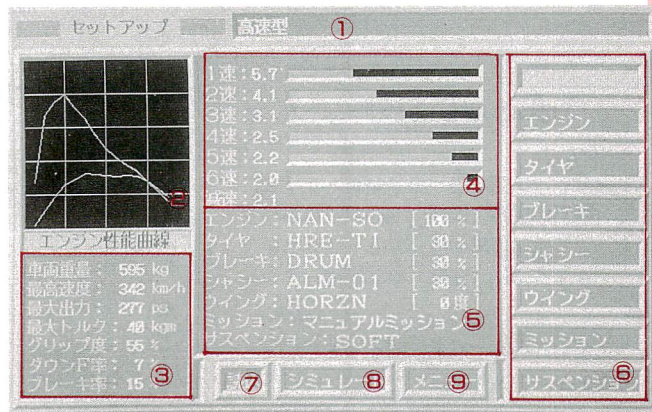
スペシャルマシンで戦え!

セットアップガイド

君だけのスペシャルマシンを作り上げろ!

君だけのワークショップ。獲得したパーツは、ここでセットアップされる。初期設定で用意してある、低、中、高速型の3台だけでは力不足。獲得したパーツを組み込み、更に戦闘力を高めよう。

メニュー画面で「セットアップ」を選択すると、この画面になる。

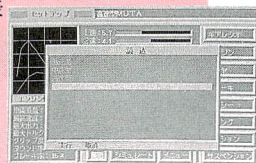


画面の見方

- ① 現行車の名前が表示される。ここに表示された車の性能が、以下に示される。
- ② 性能曲線図。縦軸が出力、横軸が回転数で、赤がトルク、緑がパワーを表す。
- ③ 現行車のデータが示されている。セットアップしたパーツによって数値は大きく変化する。
- ④ 各ギアの色到達域を示している。右寄りが高速域になる。
- ⑤ 現行車に使用されているパーツの名称と、その耐久度を100%単位で表している。数値が高いほど壊れにくい。ただし、エンジンは、パワー効率を示している。君の使い方で、その耐久度に変化が出る。
- ⑥ 各項目ごとに獲得したパーツが保存される。

以下の⑦⑧⑨は、 選択する。

- ⑦ ここは言ってみればガレージ。君がセットアップした車が10台分収められる。「実行」すると強調表示されている車のデータがセットアップ画面に読み込まれる。



パーツのセットアップ

方法① エンジン、タイヤ、ブレーキ、シャシー、ミッション、サスペンション

キーボード カーソルキー(↑↓)で項目を強調表示し、リターンキーを押

操作 すとパーツウィンドウが開かれ、獲得しているパーツが分かる。パーツを選択し、リターンキーを押すと、現行車に仮装着される。**[ESC]**では、キャンセルされる。

マウス操作 カーソルで項目を指し、左クリックでウィンドウを開く。パーツを選択し、左クリックすると、現行車に仮装着される。右クリックでは、キャンセルされる。

方法② ギアレシオ、ウイング

パーツウィンドウの開き方は、その他のパーツと同じ。

ギアレシオ

1～6速までの各ギアを1速ごとに調整できる。ギア比は、数値が上がると加速が良くなり、最高速度が低くなる。数値を下げるとその逆になる。

キーボード (↑↓)で各ギアを選択、(+)で数値が上がり、(-)で数値が下がる。

操作 「実行」すると、現行車に仮装着され、「取消」でキャンセルされる。

マウス操作 △をクリックすると数値が上がる。▽をクリックすると数値が下がる。「実行」すると、現行車に仮装着され、「取消」でキャンセルされる。

ウイング

効果については、「3.オプションパーツガイド」を参照せよ。

初期設定で装備されているウイングは、角度調整がきかないが、オプションで手に入れたウイングは、角度の調節がきく。

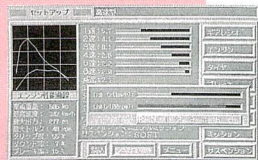
キーボード 選択すると、角度調整ウィンドウが新たに開く。(↑↓)で角

操作 度を設定する。「実行」で現行車に仮装着され、「取消」でキャンセルされる。

マウス操作 選択し、角度調整ウィンドウを開く。カーソルで△か▽をクリックすることで角度を設定する。「実行」すると現行車に仮装着され、「取消」でキャンセルされる。

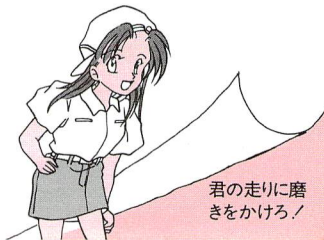
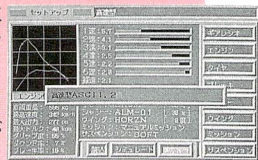
⑧ セットアップされた車の加速性能を確認することができる実験室だ。

エンジンの回数転と速度の上昇の関連性が一目瞭然になる。ギア比の設定で迷っているのなら、ここで確かめてみるのが一番。ウィンドウを閉じるには、キーボードなら**[ESC]**、マウスなら左右同時クリックすること。



⑨ 使用する車が決め、ここを選択すると、メニュー画面に戻る。このとき、登録ウィンドウが開き、新しい車の名前が登録できる。登録するときは、何も登録されていない部分を強調表示し「実行」する。登録せず、以前の車をそのまま使うときは、「取消」する。「実行」したときは、名前を入力するウィンドウが開くので、キーボードから入力する。
*強調表示された場所にすでに車があるとき「実行」すると、新しい車が上書きされ、以前の車のデータは、失われます。ご注意ください。

*初期設定で用意されているタイヤは、「HRE」がスリックで、「RIN」がレインです。



君の走りに磨きをかける。

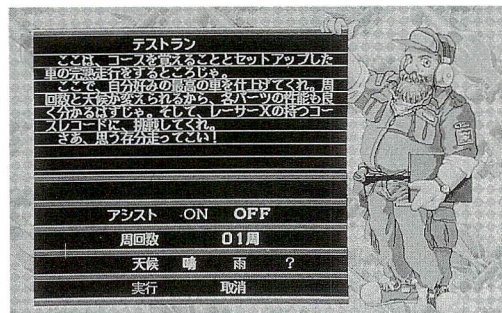
テストランガイドンス

戦いに向けて、徹底的に走り込め!

ここは、君だけの貸し切りのコースだ。セットアップした車の走行性能を確かめ、君のテクニックを磨くのに最適だ。何度走ったコースでも、調整を変えると全く違うコースのように感じるだろう。

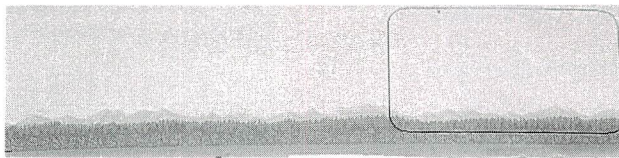
君が走れるのは、初期設定されたコースと、決勝レースで3位以内に入賞し、次レースへの出場権を得たコースだけだ。

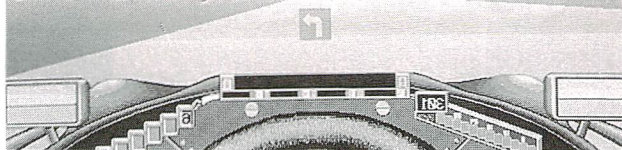
テストランを有効にするための機能を説明しよう。



①アシスト

ONにすると、基本的にコースから外れなくなる。ただし、「COURSE OUT!」の表示が出た状態からの復帰には、かなりのロスタイムを覚悟すること。





画面上部にハンドルの動きと連動した「▼」が現れる。これは、車の進行方向を示すので、目安にすると良い。

速度を上げると、赤い帯が左右から狭まって来るが、これはハンドル切れ角の限界を示す。この帯を越えて「▼」を動かす、つまりハンドルの切ると「SLIDE!」「SLIP!」を起こす。

OFFにすると、コースアウトあり。「▼」なしになる。

②周回数

1周から20周までを   で設定できる。

③天候

晴／雨／？の3パターンを自分で選べる。晴れと雨は文字通りの天候。？は、天候不順の状態。どう変わるか予測できない。晴れ用、雨用の調整も怠りなく。

「コースイン」すると、ピットロード出口で待機の状態になる。ここを出てコースを周回しても、ラップタイムの計測はない。次の周からタイム計測が始まる。

設定周回数終了時、ピットイン、または **ESC** を二度押すことで、メニュー画面に戻る。



かくしてバトルが始まる…

予選&決勝ガイドンス

優勝の栄冠をつかみ取れ!

予選は、君がくぐる最初の難関だ。決勝レース進出のために、予選を通過しなければならない。クリアラップだ。目指せ! ボールポジション!!
そして決勝を迎えた君は、優勝の二文字以外、何を望む!?

予選

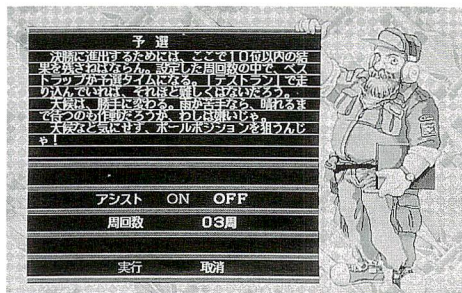
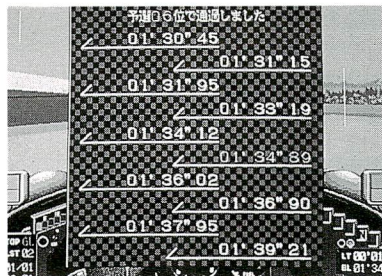
決勝進出は10台まで。

予選にもアシストON/OFFと周回数設定がある。

周回数は、3周から20周まで設定できる。

天候の設定は不可能。常に「?」の状態と思っていれば良い。

予選が開始されると、ピットロード出口で待機の状態になる。最初の一周は、タイム計測なし。



設定周回数の中でベストラップが、君の予選タイムとなる。

途中、ピットインしてタイヤ交換も可能。

予選落ちたとき、あるいは予選の順位が気に入らないときは、何度でも挑戦できる。

設定周回数終了時、または(ESC)を二度押すことで、メニュー画面に戻る。

決勝

予選で決定したポジションからカウントダウンに従いグリッドスタートする。決勝進出の10台の内、入賞は、3位まで。

入賞すればオプションパーツが貰え、新しいサーキットに挑戦できる権利を手に行ける。

4位以下では、同じサーキットで予選からやり直し。

決勝時の機能にもアシストON/OFFと周回数の設定がある。

周回数は、5周から20周まで設定できる。天候の設定は不可能。

途中、ピットインしてタイヤ交換も可能。

設定周回数終了時、または(ESC)を二度押すことでメニュー画面に戻る。

画面左上のコース図では、君の車は赤い点、他のライバル達は青い点で表示される。これでライバル達との距離が一目瞭然。

オプションパーツの選択方法

- キーボードの場合** 選択可能なパーツを強調表示し、リターンキーを押す。獲得できる数だけ選択する。最後に「実行」し、決定する。一度選んだものを他に変えるときは、いらなくなったパーツで再度リターンキーを押す。
- マウスの場合** 選択可能なパーツをカーソルで指し、左クリックで選択する。最後に「実行」し、決定する。一度選んだものを他に変えるときは、いらなくなったパーツで再度左クリックする。

どちらの場合も「取消」で、全てをキャンセルするので要注意！



もっと速くなるために…

ビデオ、対戦ガイドス

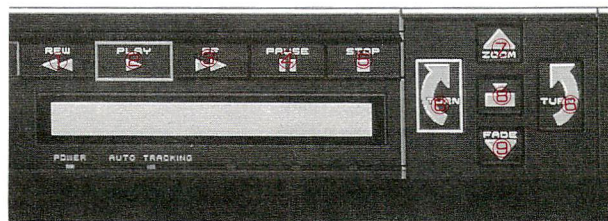
飽くなきチャレンジャーたれ!

腕に磨きをかけるための機能としてビデオ録画がある。君はビデオを利用して自分の走りやライバル達の動きを見られる。さらにこの機能を活かして友人や自分の走りと対戦することができるのだ。

テストラン、予選、決勝と設定した周回を終えると、今の走りがビデオに撮れる録画面になる。開いている番号を強調表示し、実行する。全部で10本の録画ができ、君の熱戦譜がいつでも再生可能になる。

再生操作は、キーボードからしかできない。

操作パネルの操作方法は、  でスイッチを選び、リターンキーを押すこと。操作方法は、以下の通り。



①REW

頭出し。初めのところから再生をやり直す。

②PLAY

再生開始。

③FF

リターンキーを押している間、早送り再生。

④PAUSE

画面が停止状態になる。

⑤STOP

再生を停止し、メニュー画面に戻る。

コックピットからでなく、車の周囲から視点を変えて楽しむこともできる。
 操作方法は、テンキーを使い、スイッチを選択する。
 スイッチの意味は、以下の通り。

⑥TURN/①、③

自分の車を軸にして、右回り、左回りと視点
 が移動できる。

⑦ZOOM/⑤

離れた自車に接近できる。

⑧FADE/④

最初にこのスイッチを操作することで、視点
 が自車の後ろに変わる。赤い車体が君の車だ。

⑨リターン/②

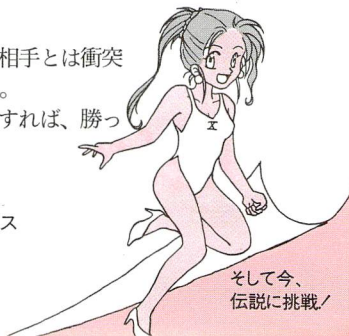
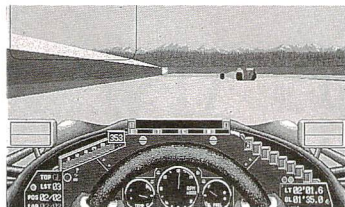
自車から離れた視点を元に戻す。

ビデオ録画した君の熱戦譜をただ見ているだけでは、もったいない。自分と、
 あるいは友人の走りと直接対決してみよう。

対戦相手（あるいは自分の）のディスクを画面の指示に従って入れ換え、対戦
 したい相手の項目を選び「実行」する。
 画面左上のコース図では、君が赤い点。対戦相手は、黄色い点で表示される。
 真のライバルより先にゴールすれば優勝だ！

*対戦相手とは同じ位置、重なった状態でスタートします。対戦相手とは衝突
 しません。その他の競技車両とは「CRASH!」状態になります。
 *他の競技車両より後にゴールしても、対戦相手より先にゴールすれば、勝っ
 たことになります。

ハードディスクにインストールされてお使いの方へ
 ビデオ、対戦の両モードは、画面の指示に従って、「ユーザーディス
 ク」を挿入してください。



そして今、
 伝説に挑戦！

レコードガイド&テクニックポイント

次代を担う者へ~レーサーXへの道

テストラン時のメニューの中に、レコードという項目がある。
このレコードを残した人物こそ、伝説の男「レーサーX」なのだ。

ここには、各コースごとにコースレコードが残されている。
実際にコースを走ってみれば、この記録がいかに偉大なものであるかが分かるだろう。
全コースで優勝を飾ったなら、
是非ともこのレコードをすべて君の手で書き換えてもらいたい。

MESSAGE FROM RACER "X"

グリップ走方かスライド走方か

自分の走り方に適したスタイルを確立せよ。意識的に滑らせ、コーナーを抜けることも可能。その際、カウンターステアとスロットルワークで姿勢を制御できる。勿論、それなりの技術を持ったドライバーに限られるが。

最高速度か旋回速度か

最高速度が40km/h遅くても、その分コーナーで20km/h速ければ、コースが直線だけでない限り、君にも勝機はある。最高速度にこだわるな。

天候を読み

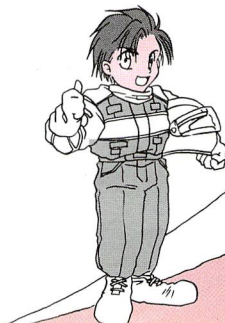
決勝でのタイヤ交換は、大逆転の可能性がある。遅れを取り戻せる分、失敗すれば、挽回は絶望的だ。ピットインのタイミングを計れ。

セットアップに正解なし

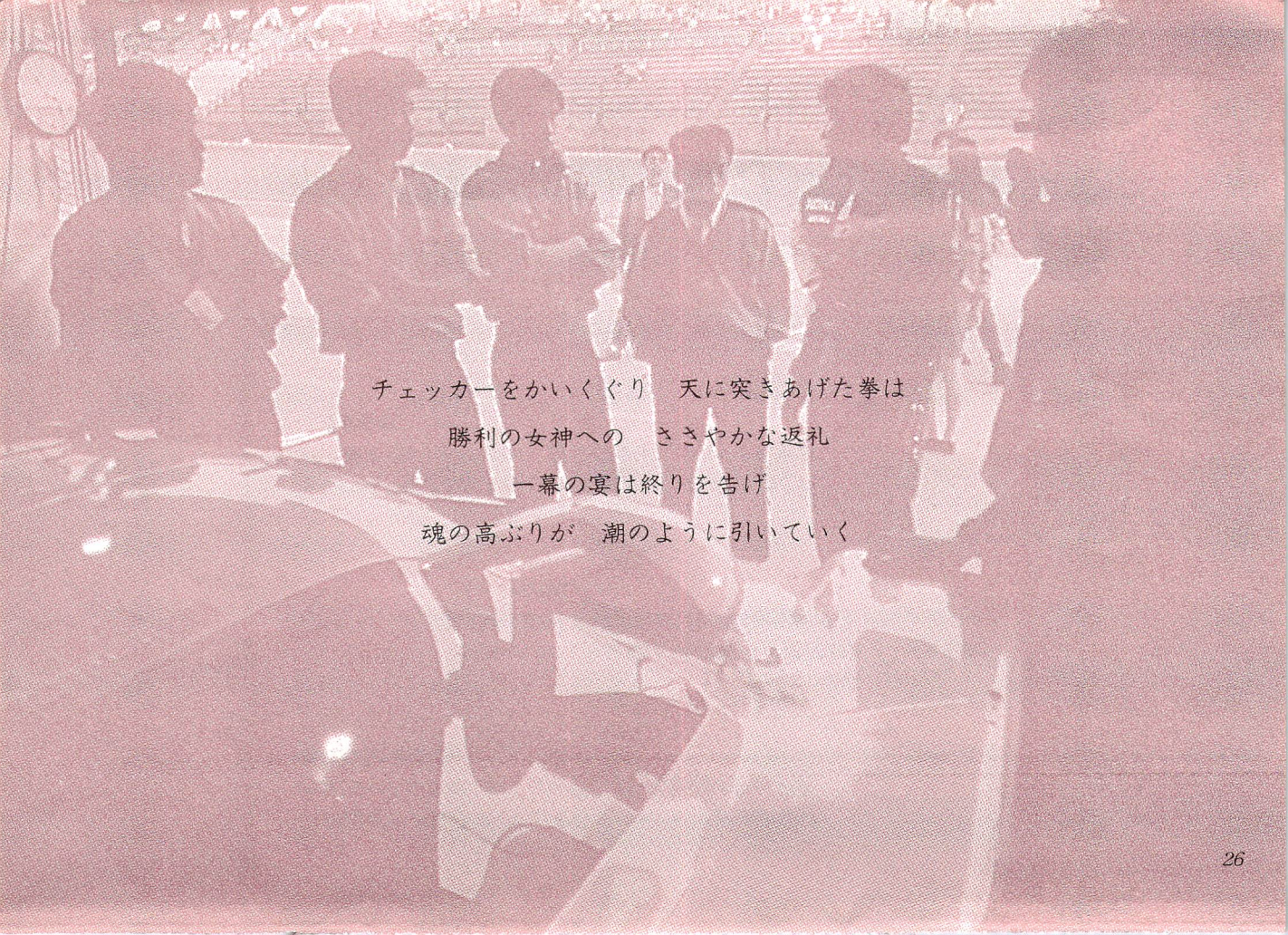
セットアップによる組み合わせは、無限大。しかし、そのどれが一番なのか、正解はない。自分に合った、乗りやすい車が一番なのだ。

全戦優勝。そして、コースレコード更新を果たしたときこそ、君が「レーサーX」の称号を晴れて授かることができるのだ。

その日は、必ず来る。
己を信じ、コースインせよ！



伝説を越える
日は近い……

A photograph of a group of people standing on a podium at a motorsport event. In the foreground, the front of a white and black race car is visible. The people on the podium are wearing various clothing, including a racing suit with 'JOMO' and 'KAWASAKI' logos. The background shows a large crowd of spectators in a stadium setting.

チェッカーをかいくぐり 天に突きあげた拳は
勝利の女神への ささやかな返礼
一幕の宴は終りを告げ
魂の高ぶりが 潮のように引いていく

最速伝説 レーサーX

製品には万全を期しておりますが、万一動作しない場合は、製品の破損等が考えられます。大変お手数ですが、住所、氏名、電話番号、使用機種名を記入のうえ、弊社ユーザーサポート係まで製品ディスクをお送りください。

〒107-24 東京都港区南青山6-11-1 スリーエフ南青山ビル
株式会社アスキー ユーザーサポート係

電話番号：03-5351-8499(ご質問専用)

受付時間：月曜～金曜(AM10:00～12:00/PM1:00～5:00) 祝祭日を除く

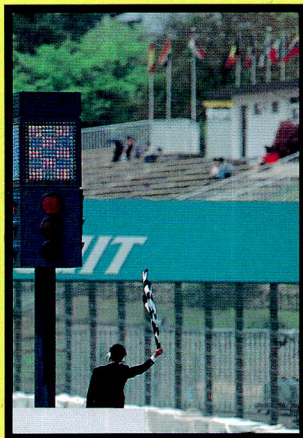
内容に関するヒント、ご質問にはお答えできません。このソフトウェアならびにマニュアルを賃貸業に使用することを禁じます。またこのソフトウェアの全部または一部を個人的に使用の場合を除き、株式会社アスキーおよび権利保有者の文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。

株式会社アスキー

〒107-24 東京都港区南青山6-11-1 スリーエフ南青山ビル
電話番号03-3486-7111代

©1993(株)アスキー/ (株)ファイコシステム研究所
MAOIX Copyright©1991 ASCII CORPORATION
SWAN made by ALTANA

MS-DOSは、米国Microsoft社の商標です。



ASCII